

# 都市再生整備計画(第1回変更)

おおつちょうちく  
大津町地区

かながわ よこすか  
神奈川県 横須賀市

平成27年12月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	よこすかし 横須賀市	地区名	おおつちょうちく 大津町地区	面積	87 ha							
計画期間	平成	24	年度	～	27	年度	交付期間	平成	24	年度	～	平成	27	年度

<b>目標</b> コミュニティー活動の拠点を整備することにより地域力を強化し、地域の活性化を実現する。 目標1 地域住民の生きがいづくり、地域を支える人材づくりを充実し、交流と絆を深め、地域力を高める。 目標2 地域団体の連携によるまちづくりを促進し、地域の活性化を図る。
--

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 ・大津行政センターが所管する地域は横須賀市東部の東京湾に面し、国道16号線、134号線が通り、これに並行して京浜急行電鉄の本線及び久里浜線が走る交通に至便な立地条件のもとに発展してきた。平成21年3月には横浜横須賀道路が馬堀海岸ICまで延伸され、首都圏中心部からのアクセスも格段に向上した。古くからのまちに加え、埋立整備、団地造成等により人口が増加し、自然環境と住環境に恵まれた地域として知られている。 ・地域の人口は約44,000人で33の町内会・自治会があり、それらにより組織された大津地区連合町内会のほか、地域を単位として大津地区社会福祉協議会、大津地区民生委員児童委員協議会、大津観光協会、クリーンよこすか大津地区市民の会、横須賀市赤十字奉仕団大津分団が組織され、様々なコミュニティー活動が行われている。また、地域内のコミュニティー活動、生涯学習活動の拠点である大津コミュニティセンターは年間約67,000人に利用されている。 ・上記、大津コミュニティセンターについては、狭い、利用室数が少ない、エレベーターがないなどの問題があり、地域活動の拠点として十分ではない。そのため、地域住民から移転・建替の要望・陳情がたびたび出されている。市は、こうした声を受け、平成15年に横須賀市土地開発公社に依頼して大津町地区内に建替用地を確保し、建設へ向け地域住民とワークショップを開催するなど検討を進めたが、その後の厳しい財政状況により事業実施を見送ってきた経緯がある。 ・平成22年度策定の横須賀市基本計画では、「地域力を育むプログラム」を重点プログラムの一つとして掲げ、住民自治に根ざした都市の実現を目指している。その意味で地域コミュニティの拠点となる施設の充実が必要不可欠なものであり、早急な実施が求められるところである。
---

<b>課題</b> ・地域のニーズに応える機能を備え、人口に応じた施設規模を持つコミュニティセンターを建設する必要がある。
--

<b>将来ビジョン(中長期)</b> ・横須賀市基本計画に「地域力を育むプログラム」を重点プログラムの一つとして掲げるとともに、平成23～25年度の実施計画において大津コミュニティセンターを含む大津行政センター等建設事業を位置づけ、平成27年度開館へ向けた用地取得、設計等を予定している。
---

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
コミュニティセンターの利用者数	人/年	まちづくりや生涯学習等の活動を行う施設利用者数	コミュニティ活動等の利用者を増やし、地域力の強化を図る。開館後は従前の15%増を目標値とする(従前値はH20～H22の平均)。	67,000人/年	H23	77,000人/年	H28
コミュニティセンターに対する満足度	ポイント	コミュニティセンター施設とその機能に対する満足度(アンケートによる)	現在のコミュニティセンターの課題の解決と、コミュニティ活動及び生涯学習活動促進機能の充実を図る。開館後は従前の15%増を目標値とする。	332ポイント	H23	382ポイント	H28

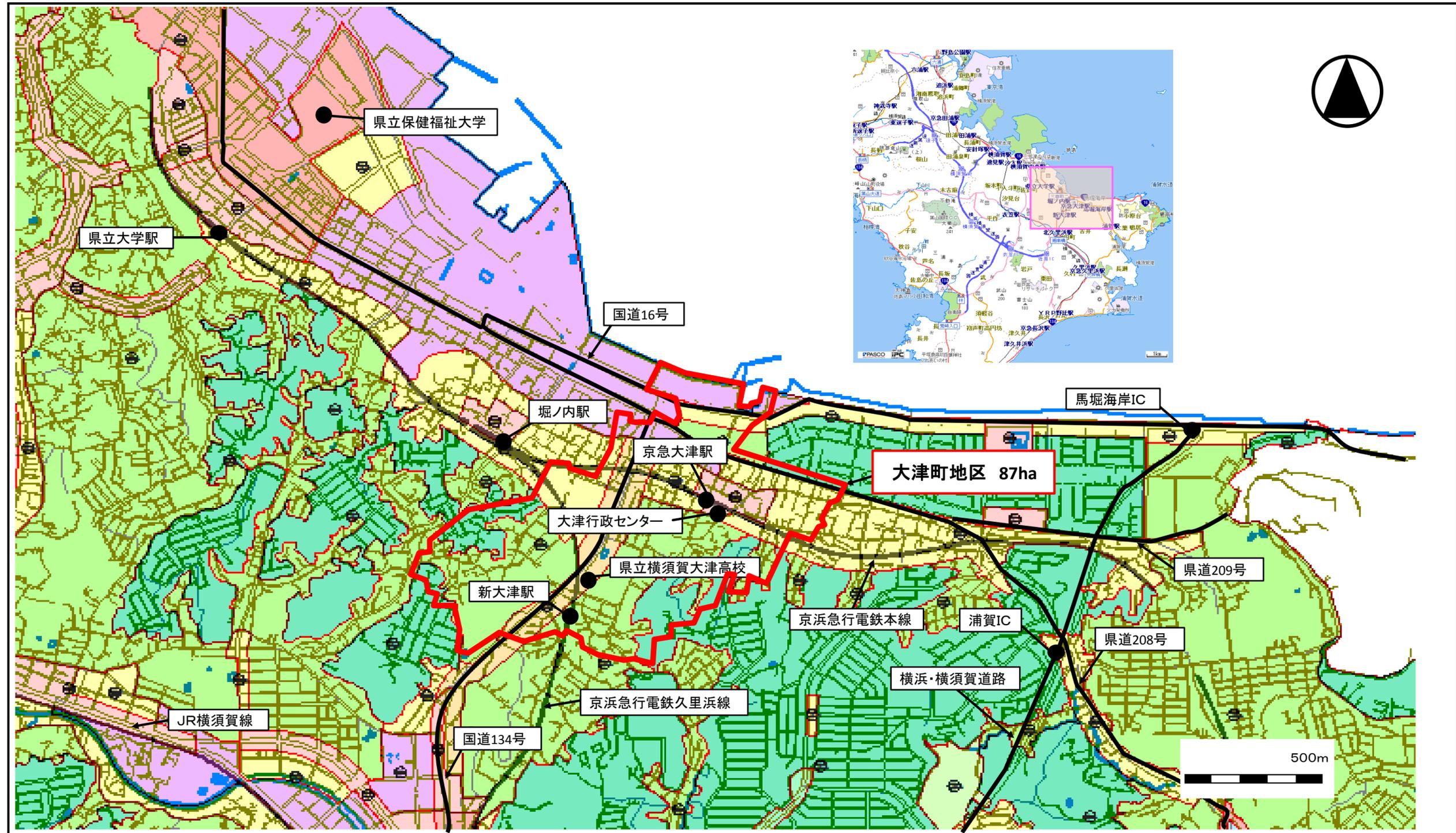
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大津行政センター管内を中心としたコミュニティ活動、生涯学習活動のための拠点施設として大津コミュニティセンターを整備する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のニーズに対応できる規模の施設整備を行う。</li> <li>・大津地区社会福祉協議会や近隣にあるボランティアセンターと連携し、地域福祉の向上に資する拠点として活用する。</li> <li>・観光行事と連携し、講演会、パネル展などを行い、地域活性化の拠点として活用する。</li> <li>・耐震性を確保し、地域の防災拠点として活用する。</li> <li>・地方自治法上の支所であり地域の行政サービス拠点である行政センターを併設整備する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基幹事業</li> <li>【高次都市施設】</li> <li>・地域交流センター(大津コミュニティセンター)(横須賀市)</li> <li>○関連事業</li> <li>・横須賀市吸収源対策公園緑地事業(大津地区)(横須賀市)</li> <li>・市道1848号線拡幅事業(横須賀市)</li> <li>・大津排水区污水管ほか築造(横須賀市)</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交付期間中の計画の管理について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画事業及び関連事業の内容は横須賀市実施計画に位置付けられるため、重点政策・施策評価の対象となり、毎年評価を受けながら着実かつ効率的に進めていく。</li> </ul> </li> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・大津コミュニティセンターの管理運営は大津行政センターが行っており、各種コミュニティ活動団体、生涯学習活動団体のニーズを把握しながら地域の活性化を図っていく。</li> <li>・現在、「地域主権のまちづくり」の時代に対応するため、住民自らがまちづくりに関わる「住民自治」の具体化策として(仮称)地域運営協議会の設置が検討されているが、新施設は主要な地域団体の協議体として想定される組織が地域力を結集、発揮するための場としても活用したい。</li> </ul> </li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

大津町地区(神奈川県横須賀市)	面積	87 ha	区域	大津町1丁目~5丁目
-----------------	----	-------	----	------------



おおつちよう  
**大津町地区(神奈川県横須賀市) 整備方針概要図**

目標	コミュニティ活動の拠点を整備することにより地域力を強化し、地域の活性化を実現する。	代表的な指標	コミュニティセンターの利用者数(人/年)	67,000 (23年度) →	77,000 (28年度)
			コミュニティセンターに対する満足度(ポイント)	332 (23年度) →	382 (28年度)
			( )	( )年度) →	( )年度)

